

## 新しい山武合同庁舎の供用開始について

令和5年9月7日  
総務部資産経営課  
043-223-2077  
総務部総務課  
043-223-2049  
総務部デジタル推進課  
043-223-4262

県では、地域の防災機能の強化を図り、地域振興事務所を中心とした出先機関の合同庁舎化を進めており、このたび、山武地域に所在する3か所の庁舎を集約した新しい合同庁舎が本年7月に完成し、10月23日より供用開始します。

新しい合同庁舎は、窓口機関の集約による県民の利便性の向上のほか、地域の防災活動拠点として必要となる会議スペースの確保、非常用の発電設備・汚水槽を設置するなど、防災機能の強化を図っています。

また、オフィス改革実証事業の一環として、地域振興事務所と教育事務所において、「グループアドレス」を導入します。

## 《建物の特徴》

防災対策

防災活動拠点としての機能を確保するため、複数の会議室を可動間仕切りとし、非常時には災害対策本部の支部として転用を可能とするほか、72時間連続運転が可能な非常用発電設備、一時的に汚水を貯めておくことができる非常用汚水槽などを設置しています。

環境対策等

外壁や窓の断熱性能を高めるとともに、自然採光を生かした執務室の配置や、自然通風を生かし窓からの給排気を自動的に行う換気システムの採用など、環境負荷の低減に配慮しています。

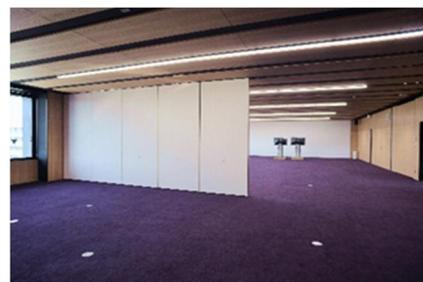
また、内装には山武地域の特産品であるサンプスギを使用しています。

多様で柔軟な働き方等に対応する環境整備

ペーパーレス化やテレワークなどの多様な働き方をより一層推進するとともに、効率的な業務運営に向けた執務室の在り方を検証するためのオフィス改革実証事業の一環として、地域振興事務所と教育事務所において、「グループアドレス」などを導入します。



全 景



会議室と可動間仕切り



サンプスギを用いたエントランスホール

(参考)

### 《位置図》 3庁舎を旧山武合同庁舎敷地に集約



※②東金合同庁舎は、今後解体し、車庫倉庫棟及び防災備蓄倉庫を整備予定

### 《新庁舎の概要》

所在地：東金市東新宿1-11（東金駅より徒歩約6分）

事業費：約34億4千万円

工期：令和3年12月22日～令和5年7月31日

敷地面積：3,629㎡

延床面積：庁舎棟：4,977㎡（4階建て）鉄筋コンクリート造

車庫・倉庫棟：589㎡（2階建て）鉄骨造

職員数：約210名

業務開始：令和5年10月23日

### 入居機関

4階	東上総教育事務所山武分室
3階	山武土木事務所
2階	山武農業事務所
1階	山武地域振興事務所、東金県税事務所

### 《現在整備中の合同庁舎》

夷隅地域、安房地域、海匝地域

#### ○オープニングセレモニーについて

令和5年10月10日（火）14時から

※一般の方はご参加いただけません。

なお、当日の取材については、別途ご案内します。